

## 一般社団法人室内環境学会 2025 年度 第 2 回通常理事会議事録

日 時：2025 年 9 月 8 日（月）16:00～19:00

場 所：事務局会議室／オンライン会議室

出席者

理事：東賢一（理事長）、中島大介、鍵直樹、橋本一浩（事務局長）、小栗朋子（会計）、高木麻衣、  
三宅祐一、森田洋、篠原直秀、水越厚史、萬羽郁子、嶋崎典子

事務局：色摩操

監事：湯懷鵬、齊藤智

欠席：柳宇、徳村雅弘

本理事会は総理事数 13 名のうち過半数である 11 名が出席していることから、定款第 34 条により成立した。また同第 33 条により、本理事会の議長は東理事長が務めた。

議事次第：

1. 2025 年度第 3 回臨時理事会議事録 → 承認された。

2. 2025 年度委員会活動報告

事業委員会：例年通り、他団体から後援・協賛依頼の審査を実施した（嶋崎委員長）

財務委員会：例年の活動通り、学会の財務および会計に関する管理を行った（小栗委員長）

学術委員会：例年通り、各分科会活動の支援、2025 年度研究助成金の募集と審査（今年度は 1 件）および 2024 年度研究助成収支報告書の審査を行った。各分科会も活発な活動を行い講演会や共同研究にそれぞれ取り組んだ（高木委員長）

出版委員会：例年通り学会誌を 3 号発刊し、J-stage 及び学会 HP へ学会誌掲載論文のアップロードを行った（森田委員長）。また、事務作業の時給を現行の 1、200 円から 1、500 円へ引き上げたいとの要望が森田委員長から示され、最低賃金の上昇等を踏まえた承された。

広報委員会：例年通り、学会 HP、大会 HP、Facebook などの運営を行い、ニューズレターの配信を実施した。学会誌の電子化に対応した広告収入の再設計（目標 60 万円）を検討しており、企業担当委員の追加した（萬羽委員長）

若手活性化委員会：欠席の徳村委員長に代わり東理事長から報告され、2024 年学術大会において学生懇談会を開催したとのこと。学生だけではなく、若手研究者や企業も交えたキャリア支援型の企画も考えてほしいとの要望があり、今後検討することとなった。

表彰委員会：表彰関連の規定を大幅改定し、新設された学会賞、学術賞、技術賞、研究奨励賞の受賞者決定と 2024 年学術大会での表彰を行った（三宅委員長）

総務委員会：例年の活動通り、学会の事務処理全般を行った（橋本委員長）

社会連携委員会：欠席の柳委員長に代わり東理事長から報告され、2024 年学術大会にて機器展示企業を交えた意見交換会を開催したとのこと

関西支部：日本建築学会近畿支部空気環境部会と合同で講演会および企業見学会を開催した（東理事長）

将来構想 WG：会費改定案の作成、学会運営の DX 化等の提言を行った。当初の目標の一区切りがついたため、WG 活動は本年度をもって終了し、残課題は各委員会へ移管する方向（鍵副理事長）

能登半島地震に関連した室内の温熱環境・空気質の改善に関する WG：現地での調査・測定を継続しており、断熱・温熱・空気質に関するデータ収集を進めている（篠原理事）

### 3. 2025 年度決算報告（暫定）

小栗財務委員長（会計）より 2025 年度第 13 期会計決算（8 月 31 日時点での暫定）が報告された。繰り越し金は前年度比で約 100 万円減少する見込み。

### 4. 2026 年度委員会活動計画

財務委員会：学会財産の管理、各委員会等への活動費振込、会費請求書の送付、決算書作成などを行う（小栗委員長）

学術委員会：各分科会の支援、研究助成金の募集・審査を例年通り行う。また、各分科会も例年通り、セミナー、勉強会、共同研究の実施を予定している（高木委員長）

出版委員会：来年度も学会誌を 3 号発刊し、J-stage や学会 HP に論文およびその他記事の掲載を行う。29 巻 1 号より学会誌を電子化する予定（森田委員長）。

広報委員会：学会 HP、大会 HP、Facebook の運営やニューズレター配信を例年通りに行う他、学会誌の電子化に伴い広告枠の再設計も考えていきたい（萬羽委員長）

若手活性化委員会：欠席の徳村委員長に代わり東理事長から説明があった。例年通り、2025 年学術大会にて学生懇談会を実施する他、若手交流会の開催を予定しているとのこと。

表彰委員会：学会賞・学術賞・技術賞・研究奨励賞の受賞候補者を決定していく。論文賞は選考部会を組織し、審査を行う（三宅委員長）

関西支部：例年通り、集会や見学会を開催する（東理事長）

能登半島地震に関連した室内の温熱環境・空気質の改善に関する WG：被災地の仮設住宅等にて空気質等の測定を実施してきた。これらの結果について講演会などを企画して情報発信したいと考えている（篠原理事）

### 5. 2026 年度予算案

東理事長より 2026 年度事業予算案が提案された。概ね例年を踏襲しており、次年度も赤字予算となっている。しかし、学会誌の発行費用が削減されること、会費の値上げを予定していることから、将来的に赤字予算の改善を見込んでいると説明された

### 6. 2026 年度事業計画案

東理事長より 2026 年度事業計画案が提案された。今年度方針を概ね継続する旨が説明され、了承された。

### 7. 2025 年学術大会準備状況

森田大会長より 2025 年学術大会の準備状況が説明された。参加申込は約 150 名、発表申込は約 130 演題、機器展示の申込は 11 社があったとのこと。

### 8. 2026 年学術大会について

東理事長より、2026 年学術大会は東北地方を開催地とし、一條佑介正会員（東北文化学園大学）に大会長をお引き受け頂いたと報告があった。

### 9. 新規入会者の承認

事務局より 2025 年 7 月～2025 年 9 月の入会承認者 31 名（正会員 10 名、学生会員 21 名）のリストが報告された。また、最近の入会希望者 2 名（正会員 2 名）のリストが示され、承認された。

10. その他

- ・会員動向として、2025 年 9 月 5 日時点で正会員 379 名、法人会員 58 社（団体）、学生会員 80 名、シニア会員 5 名であると報告された。
- ・平野耕一郎先生を名誉会員に推戴するよう、東理事長から推薦があった。

以上

署名欄

東 賢一

印

中島大介

印

鍵 直樹

印

橋本一浩

印

小栗朋子

印

高木麻衣

印

三宅祐一

印

森田 洋

印

柳 宇

印

篠原直秀

印

水越厚史

印

萬羽郁子

印

徳村雅弘

印

嶋崎典子

印